

『うちゅう つながる学園』だより

発行 令和6年度 第2号
鵜沼中学校区学校運営協議会
(事務局 鵜沼第一小学校内)

『うちゅう つながる学園』とは、鵜沼中学校区のコミュニティスクール（略してコミスク）のことです。そして、教育委員会の委嘱を受けた学校運営協議会の委員が、子ども達の主体性、社会性、自己肯定感を育てるために活動しています。



マスコットキャラクター うる丸くん

【活動報告 1 よさ見つけレター】

学校運営協議会は地域で活躍する子ども達の発見をお願いしています。もし、皆さんが素晴らしい行いをする子ども達を見かけたら、短い文で結構ですので、学校にお持ちいただき、設置されたポストにお入れください。その後、学校はいただいたお手紙を全校に紹介するなどして、その価値の高さを認め励まします。こうすることで、子ども達が『自分の存在を認め、尊重する心』を育てていくことを期待しています。

～学校に寄せられた手紙の例～

- 下校中に声をかけた男子の母親を大切に思う心と行いに感動した方からのレター
- 自発的にごみ拾いをしている中学生に出会った方からのレター
- ボランティアで大安寺川を掃除した中学生に環境保護団体からの感謝のレター など



【活動報告 2 あいさつの日】

『あいさつの日』を地域の皆さんに広く知っていたき、子ども達に温かい校区になることを願い、**横断幕**（右の写真は各務小）を作りました。11月6日（水）のあいさつの日には4小中学校とうぬまなかこども園の保護者にアンケート調査をしたところ、約360人が参加しました。それ以外にも見まもり隊など地域の皆さんにもご協力いただきました。ありがとうございました。



【活動報告 3 学校運営協議会の開催】



学校説明をする渡部校長（中央）

11月11日（月）、学校運営協議会を八木山小学校で開催しました。渡部斉校長からは、算数を中心にお互いの考えを深める対話活動に力を入れていると説明を受けました。その後、授業参観をしましたが、タブレットを自由に使って、学習課題を解決する子ども達に驚きました。